

第 10 章 消 防 費

第10章 消 防 費

消 防 費

1 非常備消防費

消防団活動事業

消防団員健康診断

自営業者等の消防団員（145人）のうち、健康診断を受ける機会の少ない者を対象に法定健診、HBs 抗原・抗体検査、HCV 抗体検査及び成人病健診として便潜血反応検査（大腸ガン）と胃部レントゲン検査を実施しました。

検査項目	区分	受検人数 (人)	受検率 (%)	金額 (円)	委託先	契約方法
視力・聴力・血圧・尿検査・胸部 X線間接撮影・心電図・生化学 検査（肝機能・脂質）・血液一般		112	77	477,470	医療法人 社団清風会 芹沢病院	随意契約
便 潜 血 反 応 検 査		105	72	46,200		
胃 部 X 線 間 接 撮 影		88	60	242,000		
H B s 抗 原 検 査		112	77	43,120		
H B s 抗 体 検 査		112	77	43,120		
H C V 抗 体 検 査		112	77	86,240		

成果等

健康診断を受ける機会の少ない自営業者等の消防団員を対象に毎年1回健康診断を実施し、健診の結果、異常が認められた団員に対して医師の診療を受けるよう指導することにより、消防団員の健康管理の向上を図りました。

2 消防施設費

(1) 富士市・富士宮市消防指令センター管理運営事業

負担金

名 称	概 要	金額 (円)
富士市・富士宮市消防通信 指令施設管理運営費負担金	消防通信指令事務協議会の運営経費に係る負担金	40,188,290

(2) 消防ポンプ自動車等購入事業

消防車両整備計画に基づき更新しました。

備品購入

名 称	規 格	数 量	金額 (円)	購 入 先	契約方法
水槽付消防ポンプ自動車 (第12分団山本・ 第26分団内房)	CD-I型	2台	60,815,640	日本ドライケミカル (株)静岡営業所	指名競争入札
資機材搬送車(第21分団)	軽4DW トラックタイプ	1台	2,020,000	峰自動車工業 株式会社	指名競争入札

名 称	規 格	数 量	金額 (円)	購 入 先	契約方法
カートリッジ方式全自動酸化エチレンガス滅菌器	キャノンライフケアソリューションズ株式会社製	一式	1,717,408	協和医科器械株式会社沼津支店	指名競争入札
高規格救急自動車	トヨタ	1台	19,978,000	峰自動車工業株式会社	指名競争入札
高規格救急自動車搭載高度救命処置用資器材	-	一式	16,785,296	協和医科器械株式会社沼津支店	指名競争入札

(3) 消防団詰所整備事業

工 事

名 称	工 種 ・ 概 要	金額 (円)	受注者	契約方法
旧第18・19分団統合詰所解体	消防団詰所解体工事	9,086,000	(有)大栄産業	公募型指名競争入札

(4) その他建設事業負担金

消火栓の新設及び修繕

区 分	概 要	金 額 (円)
新 設	地下式消火栓 6基	6,853,954
修 繕	消火栓修繕等 2件	1,474,000

成果等

消防水利不足で防火水槽を設置することが難しい場所に消火栓を計画的に設置することにより、消防水利の充足と火災等の災害時に迅速に対応できるようになりました。

3 防災費

(1) 防災用資機材管理事業

地震等災害時に防災行政無線が正常に機能し、正確な情報の収集・伝達が行えるよう、保守点検を次のとおり実施しました。

委 託

名 称	概 要	金額 (円)	委 託 先	契約方法
地域防災無線保守点検業務	地域防災無線（基地局2局、中継局2局、移動局187局）保守	8,800,000	(株)門田電話工業所	指名競争入札

(2) 耐震性防火水槽設置事業

震災対策を主眼に消防水利不足地域に対し40㎡型耐震性防火水槽を設置するため、山宮地区耐震性防火水槽設置工事ほか3件の工事を実施し、工事費は、合計29,954,100円でした。

成果等

耐震性防火水槽を消防水利不足地域に計画的に設置することにより、消防水利の充足と火災等の災害時に迅速に対応できるようになりました。

(3) 防災用施設・資機材等整備事業

備品購入

名 称	規 格	数量	金額（円）	購 入 先	契 約 方 法
防 災 倉 庫 （ 避 難 所 用 ）	鍛造ステンレス石目模様 防災倉庫A-1-4型	3	9,820,800	(株)平和防災産業	指名競争入札
防 災 倉 庫 （ 自 主 防 災 会 用 ）	LMD - 2922	5	1,375,000	(株)西川	指名競争入札
テントトイレ	TO - LS	3	4,672,800	(株)平和防災産業	指名競争入札

成果等

災害時のトイレ不足を解消するため、車イス用のスペースを含めて7室を同時使用できるテント式トイレを男女3張ずつ購入し、3避難所に配備しました。

(4) 同報無線施設運用管理事業

同報無線の基地局及び屋外受信所（子局 256 か所）が正確に作動するよう点検・整備等を実施しました。

委 託

名 称	概 要	金額（円）	委 託 先	契 約 方 法
デジタル同報無線 設備保守点検業務	デジタルの基地局・ 屋外受信所の保守点検	8,745,000	静岡無線サービス(株)	指名競争入札

(5) 国・県支出金を伴う運営費補助金

自主防災会運営費補助金

自主防災会の活性化を推進するため、125 自主防災会に運営費補助金を交付しました。

交付額 1,429 万 1,800 円

内 訳 5 万円× 125 自主防災会 =625 万円

200 円× 4 万 209 世帯 =804 万 1,800 円

(6) 各種補助金

ア 感震ブレーカー設置費補助金

地震の揺れに伴う電気機器からの出火及び停電復旧時に起こる火災の発生を防止するため、感震ブレーカーを設置する 37 人に対し、補助しました。

交付額 80 万 4,000 円

イ コミュニティ助成事業助成金

宝くじの社会貢献広報事業の一環として、一般財団法人自治総合センターコミュニティ助成事業の決定を受け、地域のコミュニティ活動の充実、強化を図るため、自主防災組織に災害時に地域内で情報を共有、把握できるデジタル簡易無線機等を配備するための助成金を 3 自主防災組織に交付しました。

交付額 540 万円（常磐区、貴船区、黒田区）

(7) 防災訓練の実施

「総合防災訓練」は、新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置対象区域に富士宮市が指定されたことから、訓練の実施が困難であると判断し、令和 3 年度の自主防災会主体の総合防災訓練は中止としました。行政が主体となった災害対策本部運営訓練は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年どおりの訓練は実施せず、災害時の事務分掌に沿った訓練を各班ごとに実施しました。

例年 12 月の第 1 週の日曜日に行われている「地域防災訓練」は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、炊き出し訓練、対面する図上訓練は実施せず、密を避けた訓練メニューから選択するように推奨しました。